

J Aバンク山梨における地域密着型金融の取組状況（2021年度）

J Aバンク山梨（山梨県下 J A と山梨県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、2019～2021年度 J Aバンク山梨中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

2021年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援の一層の強化

J Aバンク山梨は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク山梨は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

2022年3月末時点の J Aバンク山梨の農業関係資金残高^{（注1）}は4,399百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は7,172百万円を取扱っています。

（注）

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。
- 2 J Aバンク山梨が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	2022年3月末現在
農業	4,399
穀作	182
野菜・園芸	350
果樹・樹園農業	1,160
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	233
養鶏・鶏卵	41

（注）

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、J A や全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

養蚕	1
その他農業	2,432
農業関連団体等	0
合計	4,399

【資金種別別農業資金残高】 単位 百万円

種 類	2022年3月末現在
プロパー農業資金	3,352
農業制度資金	1,047
農業近代化資金	956
その他制度資金	91
合 計	4,399

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク山梨が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク山梨が低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 単位 百万円

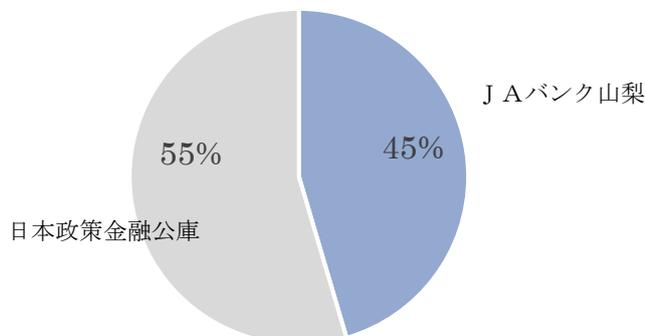
種 類	2022年3月末現在
日本政策金融公庫資金	7,172
そ の 他	0
合 計	7,172

(注) JAバンク山梨では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

JAバンク山梨は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【山梨県の公庫農業資金の取扱いシェア】

日本政策金融公庫 融資残高シェア
(2022年3月末時点)
出所：JAバンク山梨、日本政策金融公庫



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

JAバンク山梨では、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、2021年度末時点で8JA・49名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は2021年度末時点で県内に88名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

また、山梨県のJAグループでは、信連・中央会・全農やまなしが一体となって「担い手サポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

例えば、JA山梨みらいの営農指導員会議において営農指導員を対象に、農業

資金に関する知識を習得するための勉強会を開催しました。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

JAバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

JAバンク山梨は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

JAバンク山梨では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 単位 件、百万円

	2021年度 実行件数	2021年度 実行金額	2022年3月末 残高
青年等就農資金	29	131	114
就農支援資金	—	—	1
JA新規就農応援資金	—	—	—
その他	—	—	—
合計	29	131	115

また、県域担い手サポートセンターでは、山梨県や峡東農務事務所が開催する就農相談会へ参加し、就農相談者へJA事業等の紹介に努めています。

(2) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援(商談会・ビジネスマッチング)

JAバンク山梨は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【2021年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	総来場 者数	内容
2022年度農商工連携 マッチングフェア オンライン個別商談会	2022年 1月18日	山梨県商 工会議所	28団体	—	オンラインでの商談 形式

(3) JAバンク山梨講演会・セミナー等の開催・参画

JAバンク山梨では、一流の経営者を招いた講演会や、法人化、農業経営に関するセミナー等を開催・共催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【2021年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
ニューファーマー育成スクール	2021年11月11日～2022年2月24日	JAバンク山梨	農業2年以上営む45歳程度の農業者	16名	・全12回開催 ・将来を見据えた農業経営の高度化をテーマに、経営スキルを学び、実践可能な経営改革プランを作成する
女性起業支援プロジェクト	2021年10月14日～12月16日	山梨県	起業を目指す女性	20名程度	・起業に必要な知識の習得、仲間や先輩起業家とのネットワークの構築を図りつつ女性起業家の育成を支援する
農業経営改善セミナー	2021年12月24日	山梨県農業経営総合支援協議会	農業者	30名程度	・農家事例発表「テーマ：農業経営を大きく変える小さな改善」 ・パネルディスカッション「テーマ：明日から使える経営改善」 ・JAバンクでは、農業融資商品を紹介
新規就農者集合研修	令和4年3月11日	山梨県	新規就農者	30名程度	・新規就農者が制度資金や経営計画の立て方について知識習得を図り、営農を行う上での経営計画の重要性を認識 ・JAバンクでは、農業融資商品を紹介

(4) 事業性評価を通じた農業者の経営課題の把握・課題解決ソリューションの提供・蓄積

【2021年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先)

	期中経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a/A	ランクアップ率 = b/A
		正常先①	—	—	—	—
要注意先	うち その他要注意先②	—	—	—	—	—
	うち 要管理先③	—	—	—	—	—
	破綻懸念先④	—	—	—	—	—
	実質破綻先⑤	—	—	—	—	—

破綻先⑥	—	—	—	—	—	—
小計 (②～⑥の計)	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は 2022 年 3 月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク山梨では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 6次産業化の支援

J Aバンク山梨では、担い手の所得向上を支援するために、生産と販売のマッチング機能強化や、需要拡大が見込める分野の事業展開支援、いわゆる6次産業化促進支援を行っています。

(2) 負債整理資金による経営支援

J Aバンク山梨では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2021年度 負債整理資金の貸出実績】

単位 件、百万円

資金名	2021年度 実行件数	2021年度 実行金額	2022年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	11	42	25
畜産特別資金	0	0	0
その他			
合計	11	42	25

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク山梨では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク山梨は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、各JAを通じて、2021年度には県下の小学校172校へ約10,000冊を、さらに特別支援学校・特別支援学級4校へ約40冊を配布され、学校の授業等において活用されています。



【贈呈式の様子】

- 図や写真があってより分かりやすかった
- 自分たちが知らないことが沢山あったので、様々なことを学ぶことができた
- 教科書にのっていない情報が書いてあって色々なことが知れた
- 色をぬったりしてできるから楽しみながらできそう

【児童から寄せられた感想（一部抜粋）】

また、食農教育では、実際に子供たちのもとを訪れ、山梨県農業の特徴や県特産物を紹介し、農業の魅力を伝えるとともに地産地消を促す活動に取り組んでいます。

【JAバンク山梨食農教育応援事業による活動内容】

活動名	活動内容
食農教育出張授業	県内幼稚園・保育園へ出向き、食の大切さや食を支える農業について知識を深めるため、山梨県農業の魅力や県産品、JAについて紹介しました。
農業収穫体験	県内幼稚園時に対し、伝統野菜「八幡芋」の収穫体験として、芋に付いた土を払ったり、農家の方が運転するトラクターを見学したりと、実際に農業に触れる体験をしました。
親子料理教室	JA女性部と一緒に親子料理教室を開催しました。いのちの大切さをテーマとした講義と牛肉と豚肉を使った料理を実施しました。

【食農教育出張授業の様子】



【農業収穫体験の様子】



【親子料理教室の様子】



以 上